

ふりがな 氏名	さくらい こうへい <b>櫻井 航平</b>	都道府県	<b>神奈川県</b>	
所属/肩書	<b>東京学芸大学院教育学研究科 総合教育開発専攻</b>			
私のESD活動	<b>理科の授業における環境学習についての調査 ESDとは何か考える</b>			

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

2012年から2016年まで環境 NGO 団体の子ども国連環境会議推進協会で合宿型や一日のイベントを運営していた。イベントの概要としては、持続可能な社会作りに向けて先進的な取り組みをしている企業・研究機関・大使館・省庁・自治体と連携して、主に中学生、高校生を対象とした協働ワークショップを開催し、持続可能な社会づくりで活躍する環境リーダーの育成であり、長期休みの合宿では毎回60人ほどの中高生が参加する。活動については環境 goo エコトレンドに掲載や高校生新聞や企業の環境報告書に掲載されたほか、当イベントに参加していた中高生が中心となって活動していたプロジェクトチームが生物多様性アクション大賞の審査員賞を受賞した。

2014年に新宿環境活動ネットにて環境学習の推進に取り組み、市民・事業者・行政と学校の連携と協働で、環境学習・環境活動を支援する「新宿環境学習応援団」まちの先生見本市の事務局員としてプロジェクトの準備、運営を行った。成果としては約 50 の環境団体がブースを出展し、来場者は 1000 人を超えた。

2015年は特定非営利活動法人エコ・リーグの「環境」就職・進路相談会という様々な環境の仕事に携わる社会人の方に来ていただき、環境の仕事を深く理解する機会を学生へ提供する「環境就職」をテーマとした全国最大規模イベントに当日の運営として参加。

2016年は引き続き「環境」就職相談会を実行委員としての立場から、環境に携わる仕事を知ること、学生が社会人になってから自分がどのように環境問題と関わっていくのか考える場を提供していく予定。

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？**

今後の活動としては、教員という立場から ESD の推進に当たっていく事を考えている。教員として取り組めることとしては、3つ考えており、授業の中で他教科とのクロスカリキュラムを行うことで ESD 活動を行っていくこと。授業だけではなく、学校生活の中で全体行事や特別活動といった時間で ESD 活動ができるような環境づくりを行っていくこと。最後の取り組む内容としては、ESD 活動をする教員を学校内に増やす広報や教員同士の会議で ESD について扱うことを行うことで、クロスカリキュラムや全体行事などでの ESD 活動に対して多くの教員が積極的に働きかけることができるような環境を作っていく事が考えられる。

ESD 全体の発展としては、まずは学校現場と地域社会のつながりを強くすることで地域密着型の学校を作っていく事。学校周辺の地域に対して子供たちが興味を持つことで、地域ぐるみの学校運営や、教科の授業の中でも、地域に住む方や、地域の企業や市民団体を外部講師として協働して授業を作っていく事から行うことで、地域の特色を生かした授業運営・学校運営を行ってきたい。

また、ESD の活動として、異なる分野の方と積極的にネットワークを構築することで、自身の ESD 活動に限らず、ESD 活動自体のもつ学際性を今よりも更に強めていきたい。